

【第75回シリーズ】「地域による学校支援活動」

初等中等教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）[第232号]掲載

マナビー・メールマガジン [第54号] 掲載

\*\*\*\*\*

「未来を担う子どもたちを地域で育てる学校支援ボランティア」

鹿児島市（武岡小学校地域本部）

鹿児島市では、昭和48年から小学校区を単位とした学校・町内会・各種社会教育関係団体等の代表から組織される『校区公民館運営審議会』を全小学校区に設置し、これまでに青少年の健全育成や校区民の生涯学習のための事業を実施し、大きな成果をあげてきました。そこで、本組織を『地域教育協議会』に指定し、「地域の教育力」を生かした本市独自の地域ぐるみによる「学校支援ボランティア事業」を推進してきました。

武岡小学校地域本部においても、広報やボランティア募集のためにコーディネーター室を学校敷地内にある校区公民館に設置し、学校と地域が連携しながら、学習支援や環境整備（花の仮植）、総合的な学習の時間（昔遊び）など多岐にわたる活動を実施しています。

校内スケッチ大会では地域の絵画グループや美術専攻の学生による指導が実施されており、学習支援（算数）では、同じ学級に同じボランティアの方が年間を通して支援をしてくださっています。また担任教員が不在となる、職員朝会の時間（月曜日・水曜日・金曜日の朝の10分間）には保護者による読み聞かせのボランティア活動を行っていますが、このことが豊かな情操を養うとともに児童の安全確保にもつながっています。

このように、ボランティアの協力を得られることで、教職員と子どもたちが向き合う時間が確保され、さらにきめ細やかな指導へと役立っています。地域住民にとっては、学校や教室が身近なものとなり、子どもたちに知識や技能を伝達することで、これまでの学習や経験を生かす場ともなっています。また挨拶や言葉かけなどが促進され、地域住民と子どもとの交流が深まっています。